

DB01707
2000
HG

筑波大学 博士（文学）学位請求論文

戦後日本国家と民衆宗教の政治参加

— 宗教学的的一考察 —

中 野 毅

寄	贈
中	平成
野	年
毅	月
氏	日

2000年11月28日提出

01003542

論文目次

戦後日本国家と民衆宗教の政治参加 ——宗教学的的一考察——

	頁番号
序章 目的・対象・方法	1
第一節 目的と対象	
第二節 「政治と宗教」「国家と宗教」研究をめぐる諸問題	4
第三節 本研究の方法的視座	
(1) 宗教学と宗教現象学	10
(2) 宗教現象学と現象学的社会学	21
(3) 多元的宗教的世界の構造	26
第四節 本論文の構成	30
第一部 占領宗教改革と戦後日本国家	
第一章 アメリカ合衆国の対日宗教政策	32
第一節 問題の所在	
第二節 対枢軸国基本政策	
第三節 対日基本政策の原型	
第四節 国務省案—戦後計画委員会 (PWC) —	
第五節 小括	
第二章 対日政策における「信教の自由」	53
第一節 問題の所在	
第二節 GHQの宗教政策と「神道指令」	
第三節 「神道指令」起草の背景	
第四節 文明闘争史観と国務省案の間で	
第五節 小括	
第三章 占領改革と日本の宗教的世界の変容	67
第一節 問題の所在	
第二節 日本国憲法と政教分離制度—神道指令の法制化	
第三節 国家構造の変容と世俗化：占領改革の意義と限界(1)	
第四節 伝統回帰現象の意味：占領改革の意義と限界(2)	
第五節 小括：原戦後世界の誕生	
第二部 戦後の民衆宗教運動と政治参加	86
第四章 戦後日本における新宗教の政治活動	87

第一節	問題の所在	
第二節	国家神道体制下での政治闘争	
第三節	戦後占領期と宗教的自由	
第四節	講和条約から1950年代	
第五節	保守政党との結合と靖国神社問題	
第六節	政治的主体性の増大と右寄り再編	
第七節	小括：政治への従属か自立か	
第五章	宗教団体による政治参加	104
	一創価学会・公明党を事例として一	
第一節	問題の所在と研究のスタンス	
第二節	創価学会の政治参加と公明党の軌跡	
第三節	政治参加の動機	
第四節	政教分離論からの問題	
第五節	宗教教団による政治参加の内在的課題	
第六節	小括：政治参加の宗教的意味	
終章	総括と課題	129
第一節	各章の要約と解明点	
第二節	全体の結論	
第三節	今後の課題と展望	
資料	「現代日本の宗教と政治」関連年表（1985—1999年）	142
	参考文献一覧	156